コロナ禍で生活困窮、社会的孤立を支える立場から豊中市社会福祉協議会の現場から

マスコットキャラクター“びーのん”よろしくね！！

社会福祉法人　豊中市社会福祉協議会　勝部麗子

3つの死との闘い

- コロナ感染症による死
- コロナで減収した人の自殺
- コロナで地域のつながりを失った人の孤独死

E,全国の社会福祉協議会は今

緊急小口資金　総合福祉資金　への対応

…コロナの影響で減収した人への貸付

この12月31日で緊急小口資金貸付	5087件
総合福祉資金貸付件数	3947件
総合延長	2055件
総合 再貸付	2790件
食材希望希望	1803件

飲食、イベント、観光、タクシー、様々な教室の先生、美容師、俳優、格闘家、建設業等

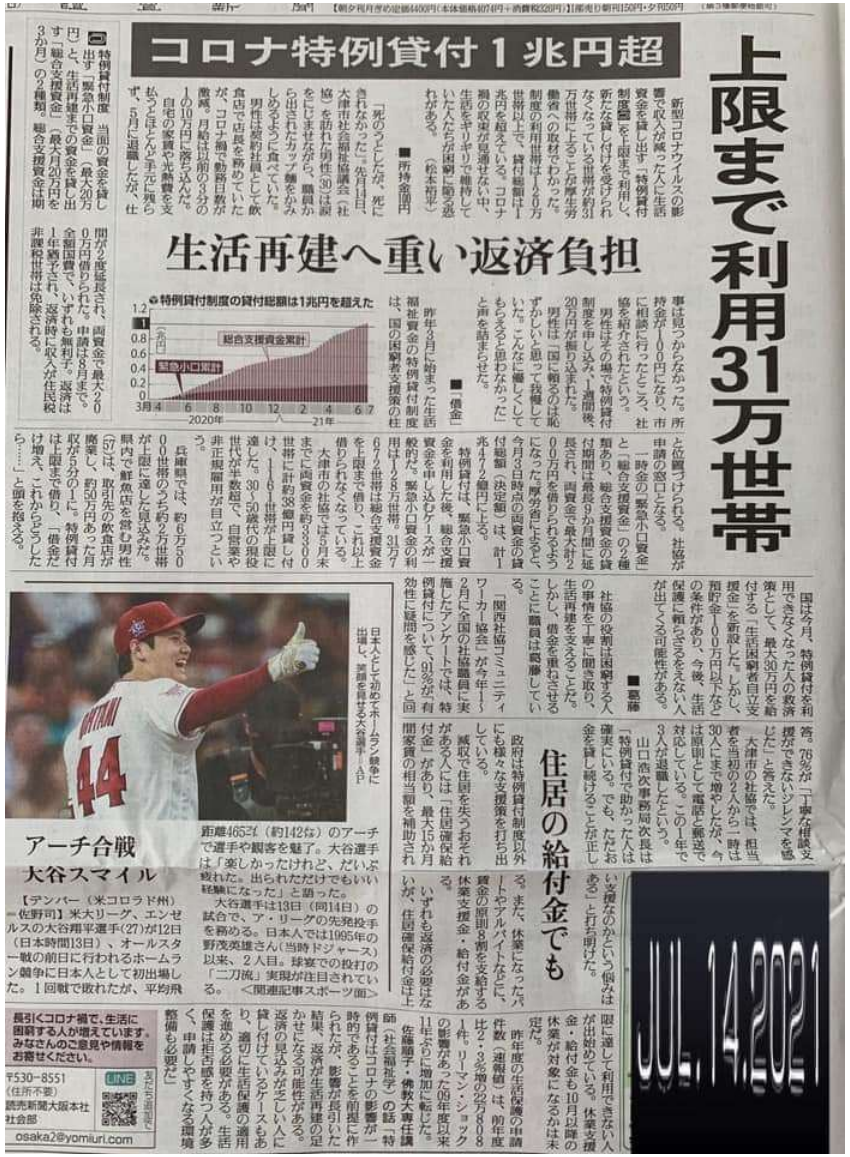
豊中では毎日100件を超える相談

すでに相談は10000件を超えて

ゴ-ルデンウイークも年末も休日も返上で支えてきた

⇒一人も取りこぼさない活動を進めてきた

コロナ貸付1兆円超/上限まで31万世帯
全国社協職員の声をアンケート



コロナ特例貸付1兆円超

上限まで利用31万世帯

新型コロナウイルスの影響で収入が減った人に生活資金を貸し出す「特例貸付制度」を上限まで利用し、新たな貸し付けを受けられなくなっている世帯が約31万世帯に上ることが厚生労働省への取材でわかった。制度の利用世帯は1・20万世帯以上で、貸付総額は1兆円を超えている。コロナ禍の収束が見通せない中、生活をギリギリで維持していた人たちが困窮に陥る恐れがある。（松本裕平）

■特例貸付制度　当面の資金を貸し出す「緊急小口資金」（最大20万円）と、生活再建までの資金を貸し出す「総合支援資金」（最大月20万円を3か月）の2種類。総合支援資金は期間が2度延長され、両資金で最大200万円借りられた。申請は8月まで。全額国費で、いずれも無利子。返済は1年猶予され、返済時に収入が住民税非課税世帯は免除される。

生活再建へ重い返済負担

■所持金1円

「死のうとしたが、死に切れなかった」。先月14日、大津市社会福祉協議会（社協）を訪れた男性（30）は涙をにじませながら、職員から出されたカップ麺をかみしめるように食べていた。

男性は契約社員として飲食店で店長を務めていたが、コロナ禍で勤務日数が激減。月給は以前の3分の1の10万円に落ち込んだ。自宅の家賃や光熱費を支払うとほとんど手元に残らず、5月に退職したが、仕事は見つからなかった。所持金100円になり、市に相談に行ったところ、社協を紹介されたという。

男性はその場で特例貸付制度を申し込み、1週間後、20万円が振り込まれた。

男性は「国に頼るのは恥ずかしいと思って我慢していた。こんなに優しくしてもらえると思わなかった」と声を詰まらせた。

■「借金」

昨年3月に始まった生活福祉資金の特例貸付制度は、国の困窮者支援策の柱と位置づけられる。社協が申請の窓口となる。

「一時金の緊急小口資金」と「総合支援資金」の2種類があり、総合支援資金の貸付期間は最長9か月間に延長され、両資金で最大計200万円を借りられるようになった。厚労省によると、今月3日時点の両資金の貸付総額（決定額）は、計1兆4472億円に上る。

特例貸付は、緊急小口資金を利用した後、総合支援資金を申し込むケースが一般的だ。緊急小口資金の利用は122万世帯。31万7672世帯は総合支援資金を上限まで借り、これ以上借りられなくなっている。

大津市の社協では5月末までに両資金を約3300世帯に計約38億円貸し付け、116世帯が上限に達した。30～50歳代の現役世代が半数超で、自営業や非正規雇用が目立つという。

兵庫県では、約6万5000世帯のうち約2万世帯が上限に達した見込みだ。県内で鮮魚店を営む男性（57）は、取引先の飲食店が廃業し、約50万円あった月収が5分の1に。特例貸付は上限まで借り、「借金だけ増え、これからどうしたら……」と頭を抱える。

国は今月、特例貸付を利用できなくなった人の救済策として、最大30万円を給付する「生活困窮者自立支援金」を新設した。しかし、預貯金100万円以下などの条件があり、今後、生活保護に頼らざるをえない人が出てくる可能性がある。

■葛藤

社協の役割は困窮する人の事情を丁寧に聞き取り、生活再建を支えることだ。しかし、借金を重ねさせることに職員は葛藤している。

「関西社協コミュニティワーカー協会」が今年1～2月に全国の社協職員に実施したアンケートでは、特例貸付について、91％が「有効性に疑問を感じた」と回答。76％が「丁寧な相談支援ができない」ジレンマを感じた」と答えた。

大津市の社協では、担当者を当初の2人から一時は30人にまで増やしたが、今は原則として電話と郵送で対応している。この1年で3人が退職したという。

山口浩次事務局次長は「特例貸付で助かった人は確実にいる。でも、ただお金を貸し続けることが正しいと支援なのかという悩みはある」と打ち明けた。

住居の給付金でも

政府は特例貸付制度以外にも様々な支援策を打ち出している。

減収で住居を失うおそれがある人には、「住居確保給付金」があり、最大15か月間家賃の相当額を補助される。休業支援金・給付金があるが、いずれも返済の必要はない。住居確保給付金は上限に達して利用できない人が出始めている。休業支援金・給付金も10月以降の休業が対象になるかは未定だ。

昨年度の生活保護の申請件数（速報値）は、前年度比2・9％増の29万8808件。リーマン・ショックの影響があった09年度以来11年ぶりに増加に転じた。

佐藤順子・佛教大専任講師（社会福祉学）の話「特例貸付はコロナの影響が一時的であることを前提に作られたが、影響が長引いた結果、返済が生活再建の足かせになる可能性がある。返済の見込みがたしい人に貸し付けているケースもあり、適切に生活保護の適用を進める必要がある。生活保護は拒否感を持つ人が多く、申請しやすくなる環境整備も必要だ」

日本人として初めてホームラン競争に出場し、笑顔を見せる大谷選手＝AP

アーチ合戦
大谷スマイル

【デンバー（米コロラド州）＝佐野司】米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平選手（27）が12日（日本時間13日）、オールスター戦の前日に行われるホームラン競争に日本人として初出場した。1回戦で敗れたが、平均飛距離465フィート（約142メートル）のアーチで選手や観客を魅了。大谷選手は「楽しかったけれど、だいぶ疲れた。出られただけでもいい経験になった」と語った。

大谷選手は13日（同14日）の試合で、ア・リーグの先発投手を務める。日本人では1995年の野茂英雄さん（当時ドジャース）以来、2人目。球宴での投打の「二刀流」実現が注目されている。　<関連記事スポーツ面>

JUL. 14 2021

長引くコロナ禍で、生活に困窮する人が増えています。みなさんのご意見や情報をお寄せください。

〒530-8551
（住所不要）
読売新聞大阪本社社会部
osaka2@yomiuri.com

LINE
友だち追加で、

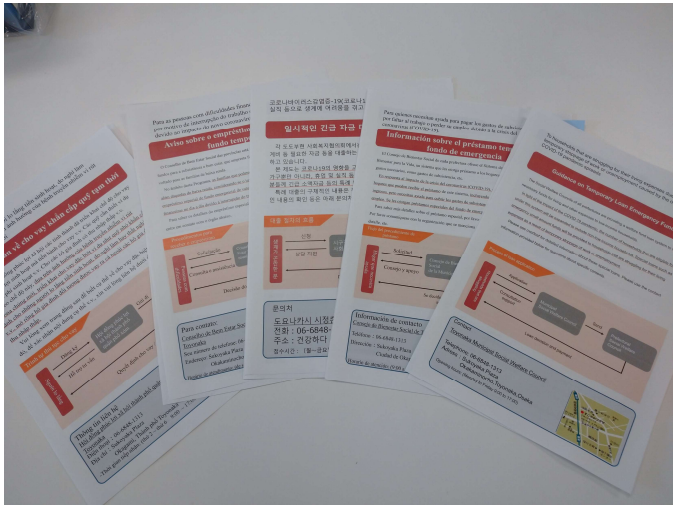
アンケートからの現場の声

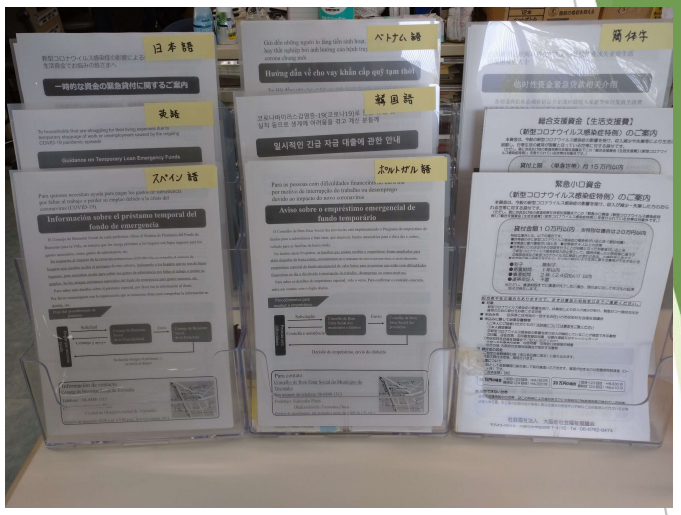
- 苦しい状況の人に借金をさせている。これが福祉なのか疑問に思う
- 貸付以外の支援策が打ち出されないことが現場で苦しい
- 空しさが募ってしまいます。先が見えないのに返す前提の貸し付けを延々と続けるのは私たちの仕事ではない。
- 貸付についての有用性は「非常にあった」が49%「あった」が42%で91%は有効だったと回答
- 膨大な申請の対応に追われ忙殺され「丁寧な相談支援ができない」が「非常にあった」32%、「あった」44%全体の76%に及んだ

→　コロナ当初は命を支える役割を行ったが一年以上も貸し付けだれで乗り切ろうとした。対象は200万世帯をこえた

生活保護と同じ層の人が困窮状態にあり、貸し付けという自助で乗り越えさせられてきた

多言語での制度紹介パンフも…





緊急小口資金は在留資格の人も対象になったため

貸付件数　4000世帯のうち約5%　200世帯

飲食・英会話等の先生・音楽家・派遣労働者 等

対象者　ネパール・インド・フィリピン・ブラジル

フランス・ペルー・ベトナム・タイ等

(国際結婚アメリカ・イギリス、モンゴル等)

→外国人労働者の厳しい実態が明らかになってきた

外国人向けのなんでも相談会を市役所・国際交流センターと共催

(重層的支援体制整備を目指す包括支援プロジェクト)

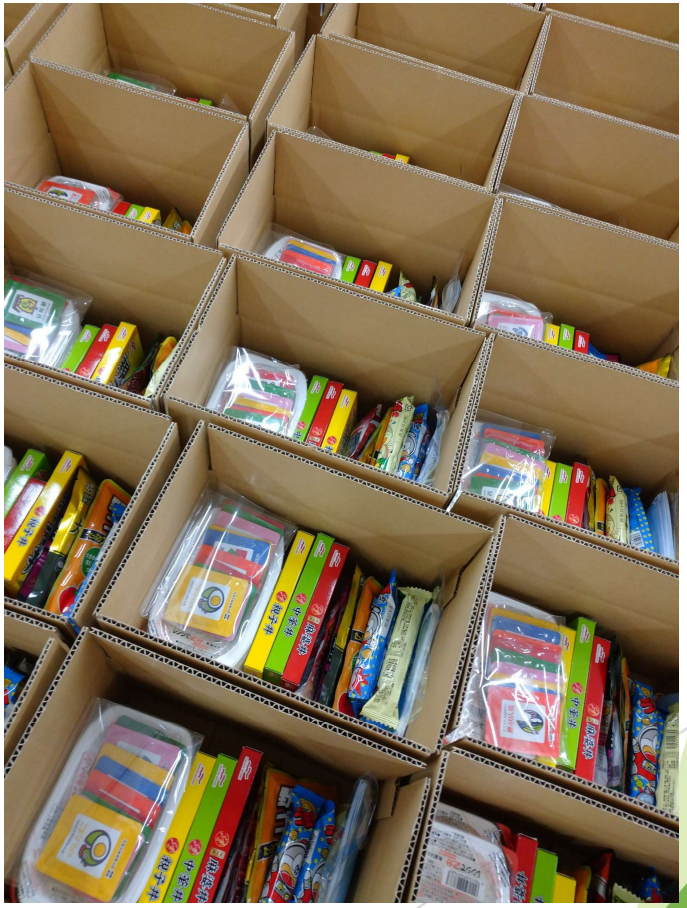
家を失った人が増えている
早朝からのアウトリーチ

家を失った人の支援

- ネットカフェが緊急事態宣言で閉鎖され路上生活に
- 友人宅にいたが、店の持っていた寮だったため家を失う
- 家賃滞納で住居を失った　多数
- 会社の寮にいたが、会社の収入がなくなり、仕事をやめると家も失った
- コロナの影響で家賃が払えなくなり、夜勤の仕事を始めて夜は泊まれるが昼間行くところがない
- 離婚して家を出たが、泊まるところがなくなった
- ＤＶで逃げてきたが家がない
- 離婚したかがお金がなくて家を出れない
- ローンが支払えない　売却しないと生活保護も難しい

豊中社協独自のフードバンク
困窮世帯など6000世帯に

食材支援プロジェクト
手作りマスクも…



市内在学在住一人暮らし大学生への食材支援 350世帯へ　新しいつながり

社会福祉法人あいわ会と協働でこども宅食をスタート
支援中の６０世帯に配食
8月には大人食堂実施

コロナ貧困の特徴

- リーマンショックとは違う

　　リーマン主に製造業の派遣切り

コロナは飲食・インバウンド・イベント、観光などの自営業に被害が集中

⇒　コロナがおさまれば一定の収入が見込まれる

　例）ローンを組んでマンション購入

　　自家用車で営業に使っている

　　⇒廃業してしまうとまた元の商売を行うためにはすごくハードルが上がる

今まで生活困窮と無縁の人も多い

貸付が途絶える人たちの支援

そもそも自営業…別の仕事に変わりたくない

副業や緊急雇用策があれば仕事をしたい

生活保護になるくらいなら死んだほうがましだという

⇒生活保護は病気や高齢により働けない人が受けるものという考え

⇒仕事さえあれば働ける人たち

身ぐるみはがす生活保護になじまない

⇒自己責任論と生活保護のバッシングがひどさ

今、地域では

- ホームレスが増えている
- 見えなかった虐待が地域活動再開とともに見えてくる
- 依存症の課題
- 孤独死など
- 地域活動への不安
- 外国人の技能修習生の課題

社会的孤立への対応

- 本来の社会福祉協議会の活動が貸し付けで進んでいけない

1,豊中市社会福祉協議会のCSWの取り組み　　排除から包摂へ

①制度の狭間から地域づくりへ

②住民と協働するワーカー

③ライフセーフティネットの仕組み

④プロジェクト会議（出口づくり）

総論賛成各論賛成　排除しない地域づくり

→　個の課題から地域づくりを考える

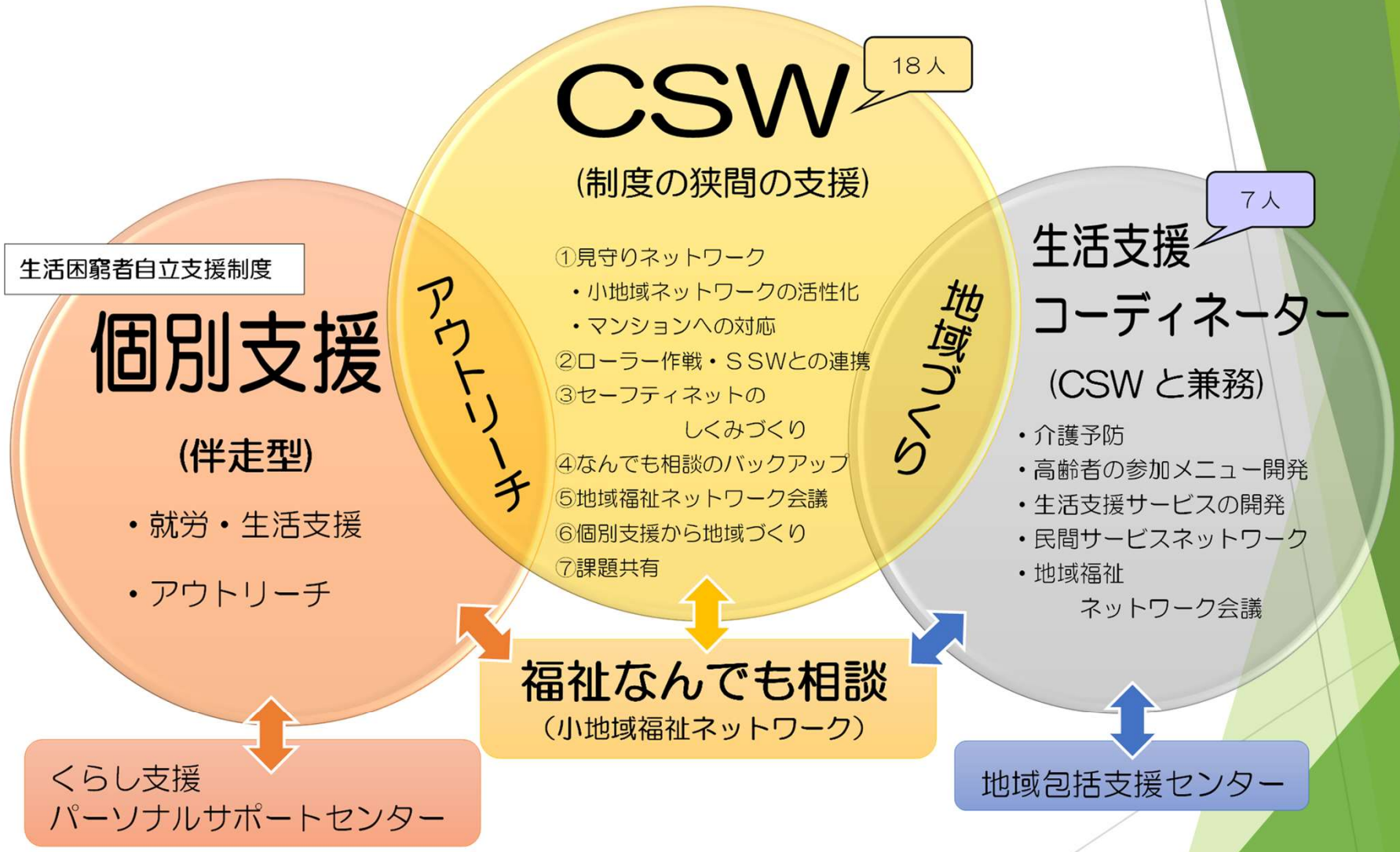
ゴミ屋敷・子供の貧困・ひきこもり・8050

アルコール依存・刑余者・二人死などなど

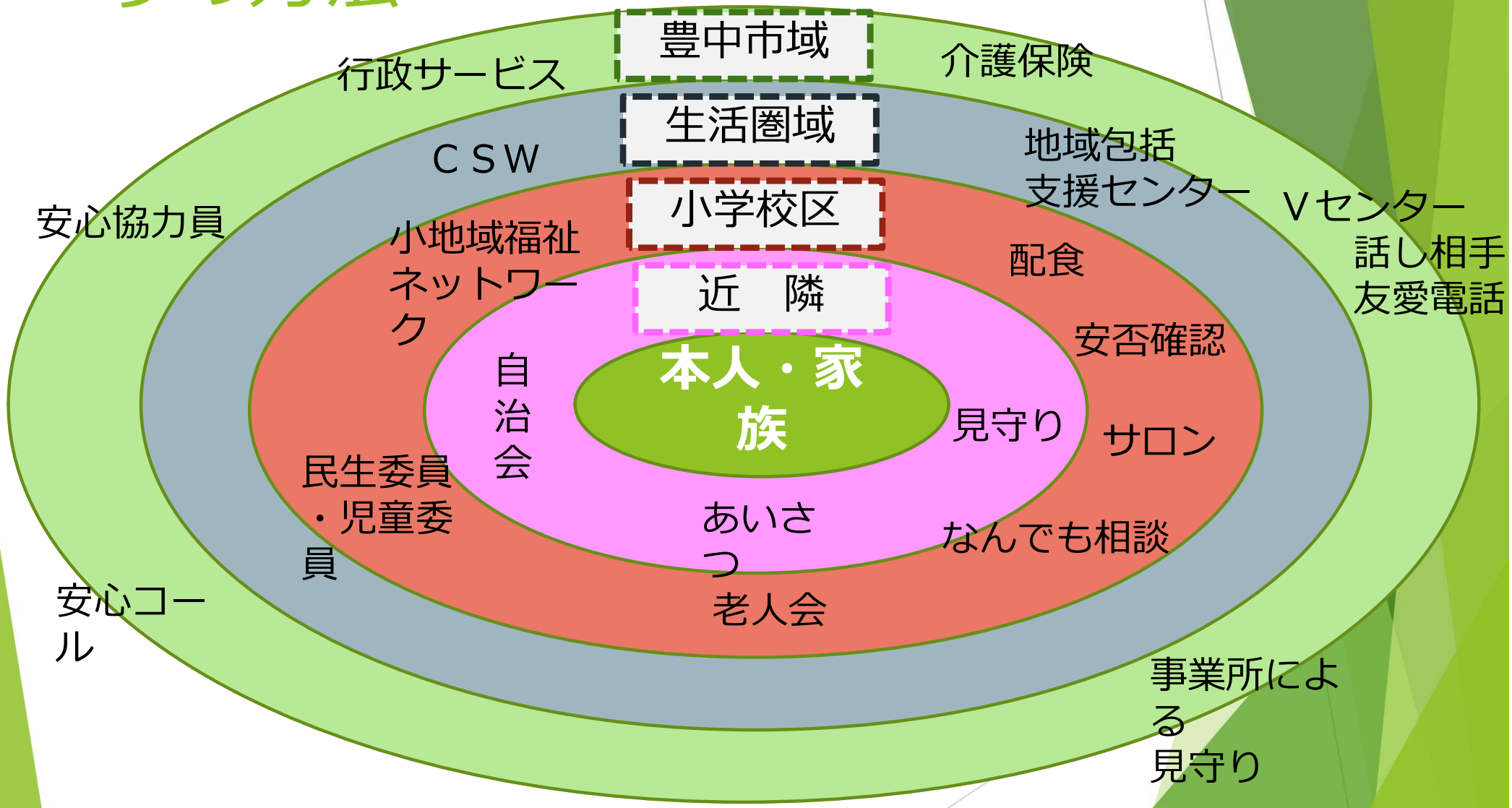
社会的孤立へのアプローチ

【地域福祉推進専門職の役割】

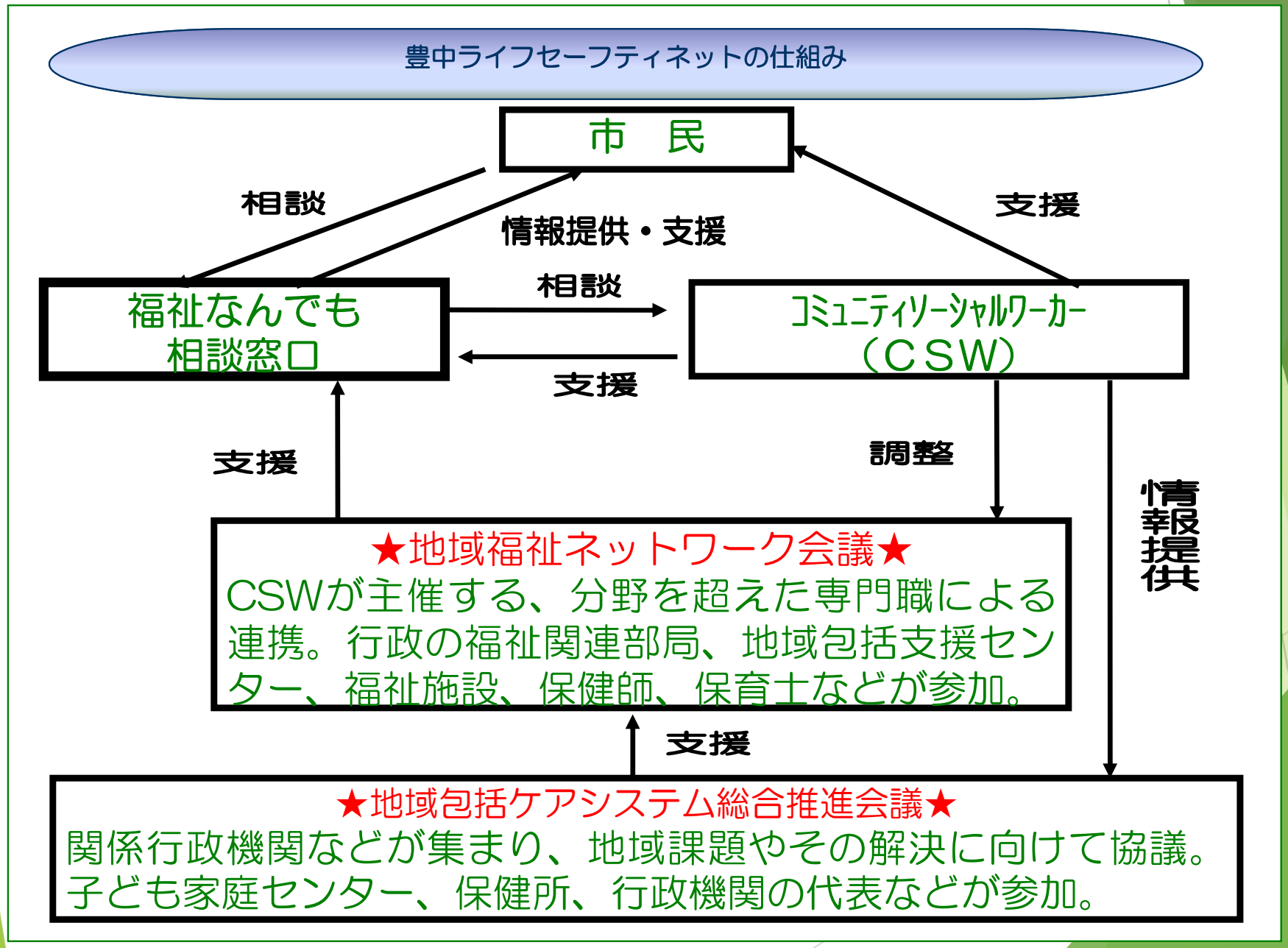
豊中社協(案)



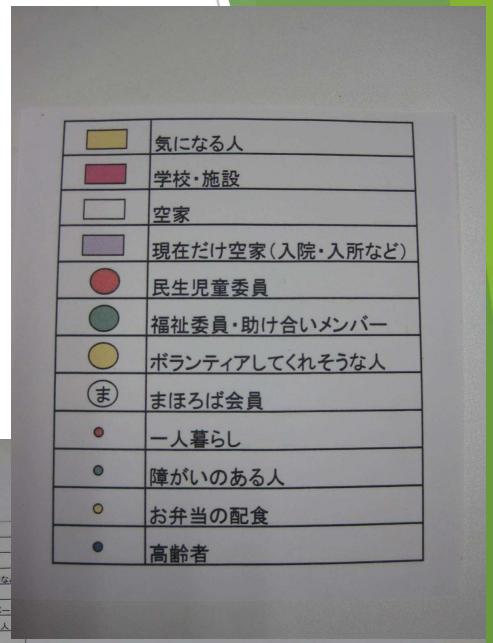
2,豊中における重層的な見守りの方法



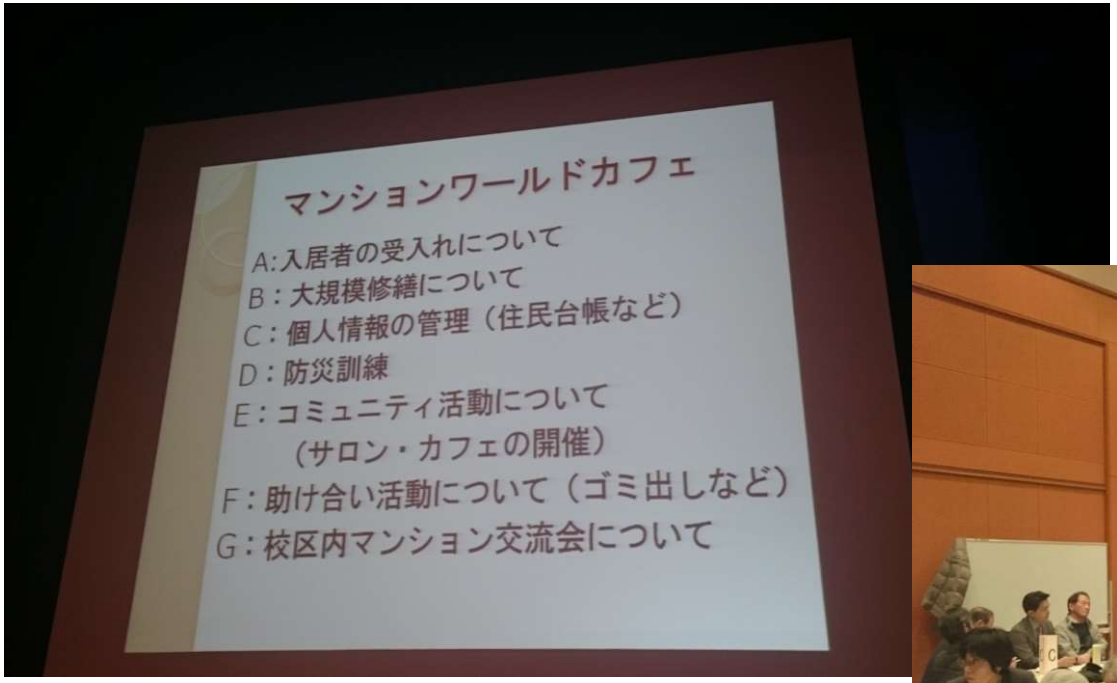
3,丸ごと・多機関協働


豊中ライフセーフティネットの仕組み
市　民
相談
情報提供・支援
支援
福祉なんでも
相談窓口
相談
支援
コミュニティソーシャルワーカー
（ＣＳＷ）
支援
調整
情報提供
★地域福祉ネットワーク会議★
CSWが主催する、分野を超えた専門職による連携。行政の福祉関連部局、地域包括支援センター、福祉施設、保健師、保育士などが参加。
支援
★地域包括ケアシステム総合推進会議★
関係行政機関などが集まり、地域課題やその解決に向けて協議。
子ども家庭センター、保健所、行政機関の代表などが参加。

一人も取りこぼさない①
ローラー作戦　年間4000軒
見守りマップ作り



一人も取りこぼさない②
マンションサミット・マンション交流会



すべての人に居場所と役割を①　定年後

豊中あぐり

すべての人に居場所と役割を②

～子どもの居場所ネットワークの構築～

【内容】
子ども食堂・フリータイム・
学習支援（学生ボランティア）

《小学校区レベル》
「子どもたちの居場所」

一人ぽっちをつくらない
生活力をつける
自己肯定感を高める
自分の役割を感じられる

【実施主体】
校区福祉委員会

《社会福祉協議会》
コンセプトの共有
フードバンクの構築
学習会の実施

【実施主体】
社会福祉法人

《圏域レベル》
※市内7圏域
「福祉施設を中心にした
トワイライトステイ」

施設の社会貢献事業
地域で支えきれない子どもの支援

【内容】
子ども食堂・入浴・学習支援

《民間企業・NPOなどの活動団体レベル》
「民間性・専門性を活かした支援」

子どもの貧困対策
家庭の経済状況による学力格差の解消

4,豊中の生活困窮者支援

生活困窮者支援緊急支援

- 貸付、日常生活自立支援、なんでも相談、資源ごみ持ち去り禁止条例との連携，学校などからの生活困窮者の伴走支援→CSWへ

(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、

制度利用、就労支援等)

- 善意銀行の生活困窮者貸付
- 民生委員助け合い資金
- 物品提供(衣類、食糧、リユース)
- 施設　社会貢献費用との連携
- 住替え支援
- 食材支援　フードドライブ

支えられていた人が支え手に変わる②

プログラム進捗状況（就労体験）

▶就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験

- 出前市場のサポート…府営住宅での出前市場の際、

  お買い上げの商品を家まで運ぶ

- 情報誌、夕刊紙

支えられていた人が支え手に変わる③

福祉便利屋(住民主体B1)の取組
200円[illegible]え合い

エ

びーの×マルシ

びーの×マルシェオープン！
「豊中びーのびーの」（引きこもり等の若者支援事業）と「豊中市小売商業団体連合会」の協力でお店を6/12にオープン！

この店 社会への一歩

ひきこもり経験者がスタッフ

豊中市宝山町の住宅街の一角に12日、新鮮な野菜や果物などの食品を扱う店「びーの×マルシェ」がオープンする。スタッフの多くは「ひきこもり」を経験した若者。社会への歩み出す場にしようと、市社会福祉協議会（社協）と市小売商業団体連合会が共同で運営する。カフェのスペースも設けられ、関係者は「地域に根ざしたみんなの居心地のいい店に育てたい」と意気込んでいる。

（小坂田墓）

市社協は2011年度から、ひきこもりの人たちの就労を支援する事業「豊中ワークフォーレ」を開設。参加者は、中間作業などに取り組んでいる。これまで90人ほどが通い、30人程度が就労したという。

今年に入り、市内の社会福祉法人から、かつて作業所だったが現在は使用していない建物を無償で借りる話が持ち込まれ、約30平方メートルの店舗に改装、「びーの×マルシェ」と名付けた。市社協社会福祉士の藤原徳士さんは「市内にほぼ300人のひきこもりの人がいると推測されており、就労に向けたステップとなる場を作りたかった」と話す。

オープンに向けて打ち合わせをするスタッフら（豊中市で）

びーの×マルシェ

食品販売 豊中あす開業

12日にオープンする「びーの×マルシェ」（豊中市）

開設の理由を説明する。マルシェの運営には、約100店が加盟する同連合会も参画。各加盟店が、それぞれの店で販売する生鮮食料品や米、パン、お茶などを並べる。スタッフは、びーの×マルシェの参加者約10人で、毎日交代で2、3人ずつが働く。加盟店の店主たちも来て接客や商品陳列、食品衛生の指導をする。同連合会によると、四国・九州地方を除く全国の加盟店は、約1万2千。

店内では、市社協が開催する東北地方の被災者の物産展の開催や、「びーの×マルシェ」の「作っていきたい」ボランティアなどの販売を予定。100円コーヒーなどが飲めるカフェのスペースも用意する。

「ひきこもりのスタッフの多くは、女性で、お客さんに喜んでもらえるよう、心を込めてコーヒーを入れたい」と話す。

今後の課題として、さまざまな人たちの交流拠点とする構想もあるという。藤原さんは「買い物を通じてスタッフの会参加を応援してほしい」と呼びかけている。

営業時間は月～土曜の午前8時～午後4時。12日は午前10時から。問い合わせは同社社協（06・6848・1279）へ。

これまでの地域づくりの手法が通用しない

- 集まってサロンを行って
- 集まって話し合って
- みんなで一緒に会食しながら
- わいわいがやがや

ソーシャルディスタンスは

人と人との距離が必要

⇒集まらなくても離れていてもつながる手法が求められる

コロナで死ななくても孤立死が増えていく

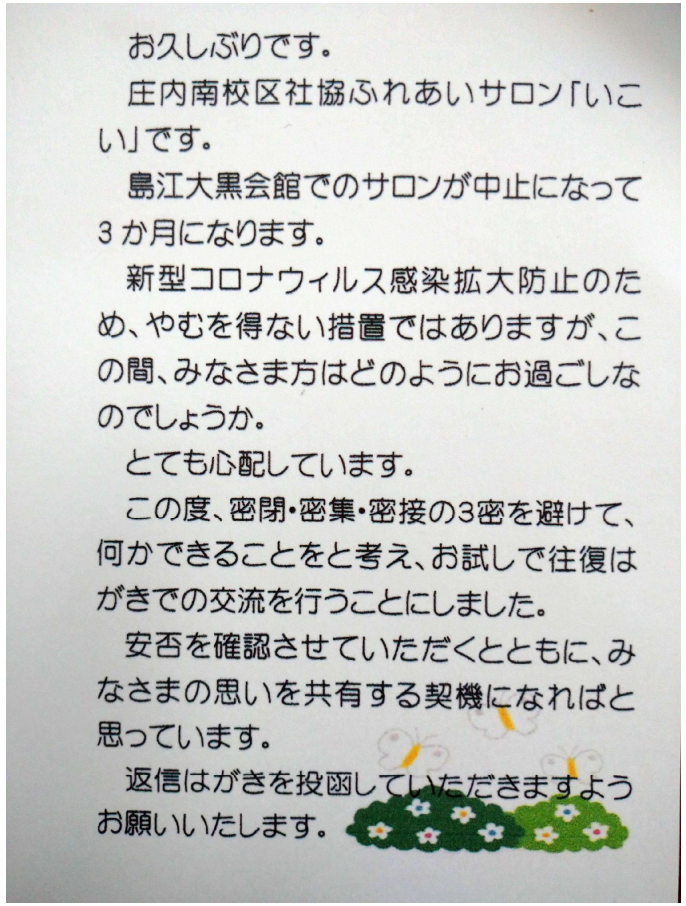
#離れていてもつながろう

- 往復はがき
- 手作りマスク
- 校区福祉委員会の見守り
- はがき、ポスティング、電話
- 遠隔サロン
- ユーチューブチャンネル
- アンケート　当事者・ボランティア・外国人等2000人
- 新しい生活様式下での地域活動再開のためのガイドライン
- フードバンク

  緊急支援・子ども食堂関連・ひとり親世帯・

  一人暮らしの大学生等　　３500世帯

往復はがきで安否確認



お久しぶりです。

庄内南校区社協ふれあいサロン「いこい」です。

島江大黒会館でのサロンが中止になって3か月になります。

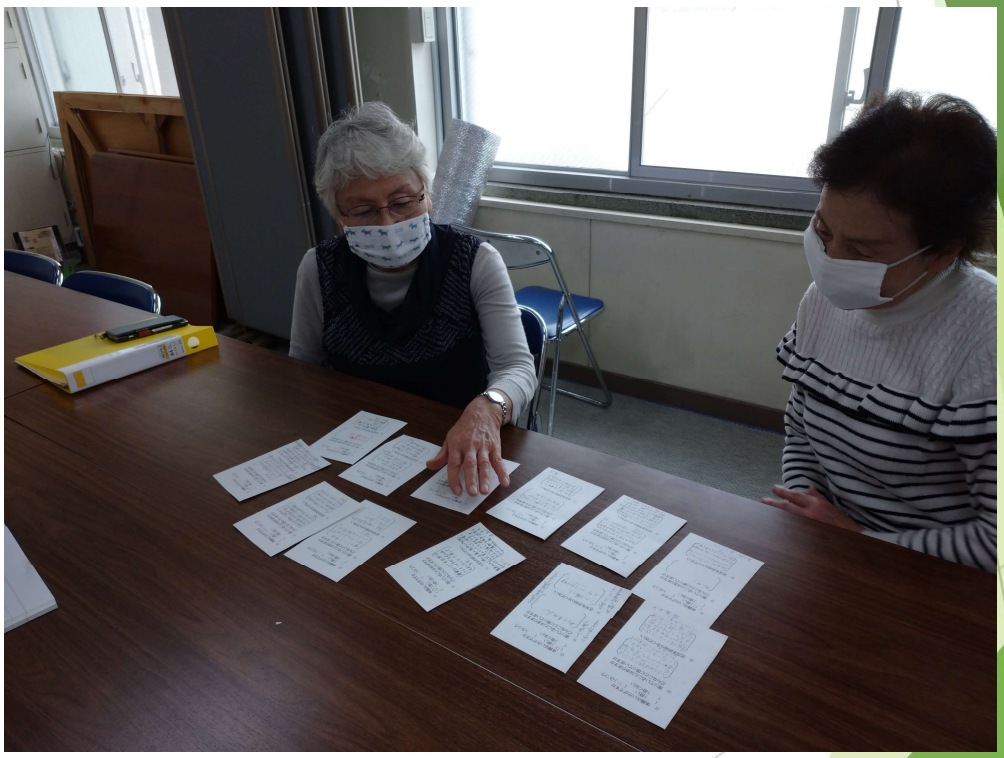
新型コロナウィルス感染拡大防止のため、やむを得ない措置ではありますが、この間、みなさま方はどのようにお過ごしなのでしょうか。

とても心配しています。

この度、密閉・密集・密接の3密を避けて、何かできることをと考え、お試しで往復はがきでの交流を行うことにしました。

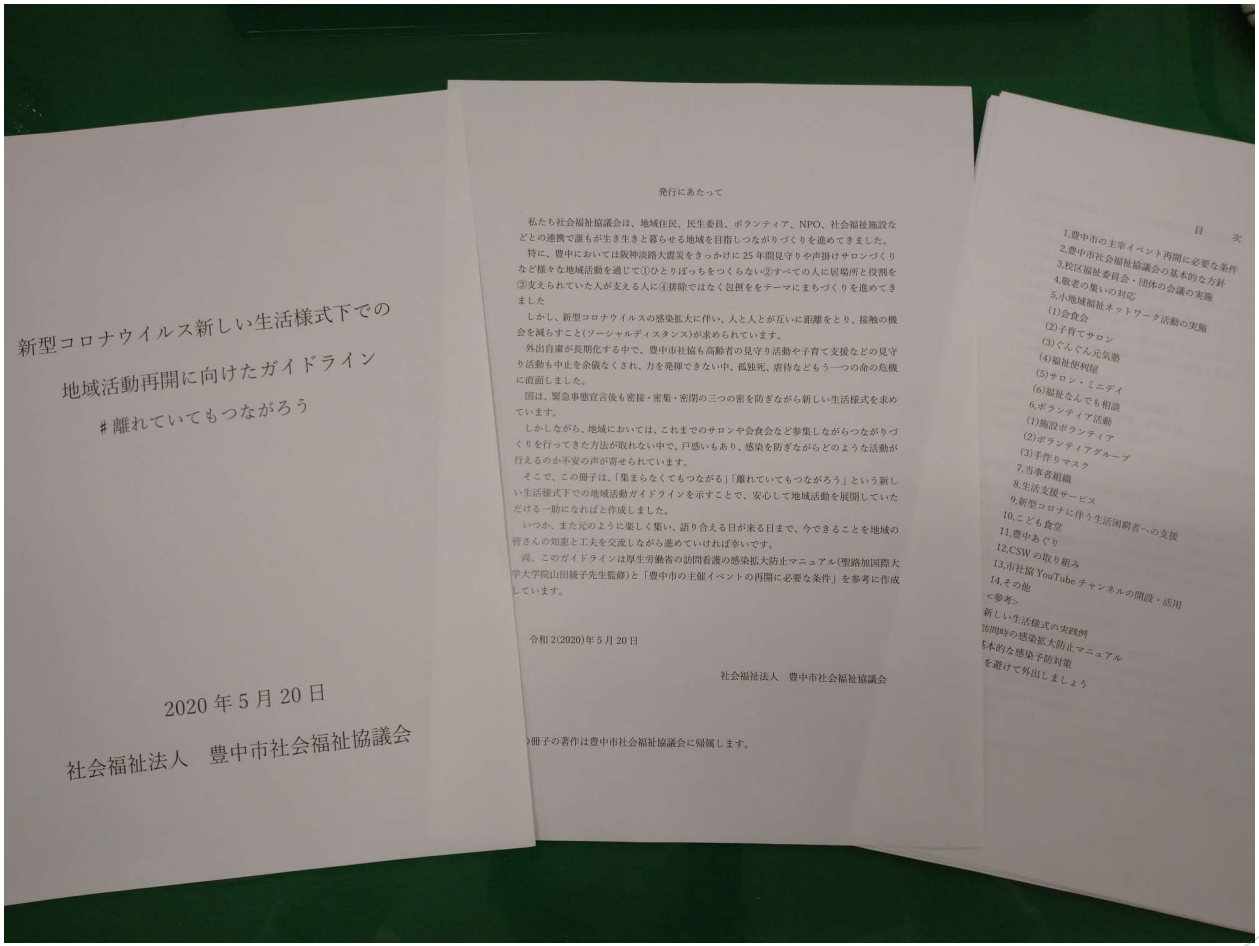
安否を確認させていただくとともに、みなさまの思いを共有する契機になればと思っています。

返信はがきを投函していただきますようお願いいたします。



当事者、ボランティア、外国人など2000人のアンケート困りごとを把握

新しい生活様式下での地域活動再開に向けたガイドライン



新型コロナウイルス新しい生活様式下での

地域活動再開に向けたガイドライン

＃離れていてもつながろう

2020 年 5 月 20 日

社会福祉法人　豊中市社会福祉協議会

発行にあたって

私たち社会福祉協議会は、地域住民、民生委員、ボランティア、NPO、社会福祉施設などとの連携で誰もが生き生きと暮らせる地域を目指しつながりづくりを進めてきました。

特に、豊中においては阪神淡路大震災をきっかけに 25 年間見守りや声掛けサロンづくりなど様々な地域活動を通じて①ひとりぼっちをつくらない②すべての人に居場所と役割を③支えられていた人が支える人に④排除ではなく包摂ををテーマにまちづくりを進めてきました

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、人と人とが互いに距離をとり、接触の機会を減らすこと(ソーシャルディスタンス)が求められています。

外出自粛が長期化する中で、豊中市社協も高齢者の見守り活動や子育て支援などの見守り活動も中止を余儀なくされ、力を発揮できない中、孤独死、虐待などもう一つの命の危機に直面しました。

国は、緊急事態宣言後も密接・密集・密閉の三つの密を防ぎながら新しい生活様式を求めています。

しかしながら、地域においては、これまでのサロンや会食会など参集しながらつながりづくりを行ってきた方法が取れない中で、戸惑いもあり、感染を防ぎながらどのような活動が行えるのか不安の声が寄せられています。

そこで、この冊子は、「集まらなくてもつながる」「離れていてもつながろう」という新しい生活様式下での地域活動ガイドラインを示すことで、安心して地域活動を展開していただける一助になればと作成しました。

いつか、また元のように楽しく集い、語り合える日が来る日まで、今できることを地域の皆さんの知恵と工夫を交流しながら進めていければ幸いです。

尚、このガイドラインは厚生労働省の訪問看護の感染拡大防止マニュアル(聖路加国際大学大学院山田綾子先生監修)と「豊中市の主催イベントの再開に必要な条件」を参考に作成しています。

令和 2(2020)年 5 月 20 日

社会福祉法人　豊中市社会福祉協議会

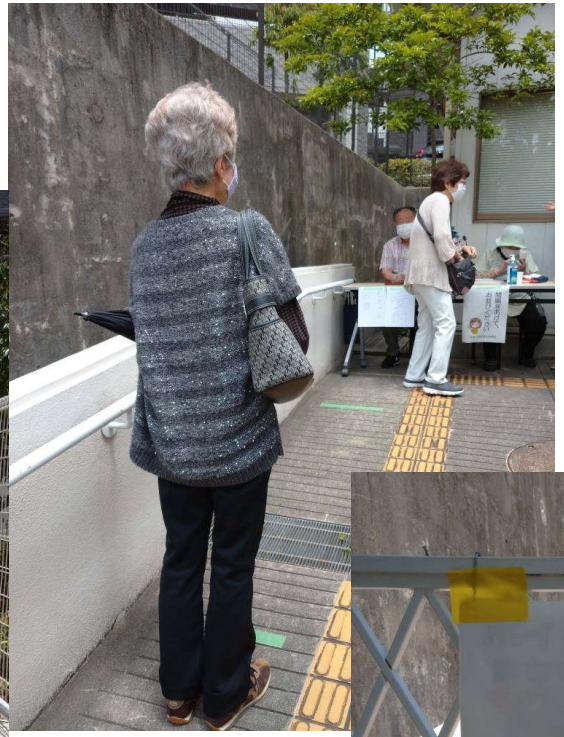
この冊子の著作は豊中市社会福祉協議会に帰属します。

目　次

1.豊中市の主宰イベント再開に必要な条件
2.豊中市社会福祉協議会の基本的な方針
3.校区福祉委員会・団体の会議の実施
4.敬老の集いの対応
5.小地域福祉ネットワーク活動の実施
(1)会食会
(2)子育てサロン
(3)ぐんぐん元気塾
(4)福祉便利屋
(5)サロン・ミニデイ
(6)福祉なんでも相談
6.ボランティア活動
(1)施設ボランティア
(2)ボランティアグループ
(3)手作りマスク
7.当事者組織
8.生活支援サービス
9.新型コロナに伴う生活困窮者への支援
10.こども食堂
11.豊中あぐり
12.CSW の取り組み
13.市社協 YouTube チャンネルの開設・活用
14.その他
<参考>
新しい生活様式の実践例
訪問時の感染拡大防止マニュアル
基本的な感染予防対策
を避けて外出しましょう

豊中社協youtubeチャンネル
豊中社協TV　5月15日開局

会食会はテイクアウト方式に



ぐんぐん元気塾
人数を半分にまたは会場を倍の大きさに変えて　茶話会なしに

…

講座は動画配信で…・

友愛訪問
お便りや七夕の笹やうちわ等をもって短時間の玄関で

定年後の男性が宅地で農業を実施

豊中あぐり

豊中あぐり野菜販売
屋外での移動販売は距離を取って…
屋内ではフェースシールドで…

子ども食堂は屋外野菜収穫体験に…
向かい合わずに
スイカを食べます

屋外でテイクアウト
食事は手作りから業者弁当に

テイクアウト方式
手作り弁当から業者弁当で

会食会から配食へ孤立化防止
手作り弁当は業者へ

2020年（令和2年）4月12日（日曜日）　総合　2

岩手日報

外出制限　コロナ　高齢者孤立

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が出され、不要不急の外出を自粛する動きが加速する中、高齢者が孤立感を深める中、高齢者が孤立感を深めている。自治会の会合の中止や、病院や介護施設の面会禁止、地域や家族との交流が減少。福祉現場では感染リスクを避けながら高齢者の社会的孤立を防ごうと、配食サービスや電話相談対応に乗り出している。「集わずにつながる」新たな人間関係づくりの模索が始まっている。

物忘れ進む

埼玉県内で一人暮らしをする女性（80）は、週1回食料や日用品の買い出しに出る以外、外出を控えるようになって1カ月以上が過ぎた。

自治会や老人会の会合だけでなく、「地域で高齢になるまいように」と続けていた体操教室やお茶会などの買い物も全て中止。「遠方に住む妹や長男夫婦と電話で話をするだけ。この状態がいつまで続くか不安だ」と話す。

関東地方に住む同じ年代の女性は今年1月、郊外へ転居し足を骨折して入院した。手術後、経過観察で入院生活が続くが、感染防止のため月中旬、面会が制限され、通常の病室から特定の家族が面会できるだけだ。

家族と直接に会話できる機会が大幅に減った女性は元気がない。入院前に比べ孤独を感じ「人と会えなくなって、声を聞けることがうれしい」と話す。高齢者たちとの相談電話は、1人当たり1時間以上に及ぶこともあり、社協の勝部麗子福祉推進室長は「高齢者同士の会話を含ませることで安否確認や孤立の防止につなげるというのが、これまでの現場の常識だった。コロナ禍では、発想を転換させ、顔を合わせず人間関係を維持する工夫が求められている」と指摘する。

情報通信技術（ICT）を使った自治体主導の安否確認の取り組みも進む。静岡県川根本町は、各世帯に設置したテレビ電話を使い、地域包括支援センター職員らと住民が連絡を取り合った。

静岡県立大の藤本健太郎教授（社会保障政策論）は「感染防止で外出を控える中、近所付き合いが薄れている地域も多く、高齢者が孤立しないよう社会的に支えていく必要がある」と指摘。「元気な高齢者ばかりでなく、買い物なども地域で支援策を考えた方がよいのではないか」と話した。

配食サービス　電話相談対応

「集わずにつながる」模索

発想の転換

福祉の現場にも変化が出てきた。大阪府豊中市社会福祉協議会は、感染を避けるため、高齢者が集まって会食する催しをやめ、業者が作った弁当をボランティアが自宅や関係者に配るやり方に変更。管内の1人暮らし高齢者などへの見守りも、電話相談に切り替えた。

大阪府豊中市社会福祉協議会の配食サービスを受ける女性

前払いの

わいわい子ども食堂は大学生ボランティアと学習支援に形を変えて

会食会からキッチンカーへ

外出自粛で起きたこと

- 見守りが減ることで虐待などの発見が減る
- 高齢者が弱る・孤独死が起こる・自殺者が増える
- ボランティア自身が弱る…社会参加が介護予防だった証明
- コロナ警察のような人たちが現れ、住民が分断
- ワクチン接種の有無による分断

↓

〇グローバルからローカルへ

〇知恵と工夫が試される(逆境力)そのためのルールが必要

地域活動再開のためのガイドライン

〇一人も取りこぼさない　　排除から寛容・包摂へ

〇スローダウン　　競争から共生へ

〇食べる事の意味　食物自給力・農業の大切さ

出会って集って助けることはできないけれど…社会参加の新しい形

- お金や食材を寄付をしたり…社会参加の新しい形を提案
- 手作りマスクや絵手紙など自分の持っている力を発揮
- 電話や・手紙を書いてみたり…スローなかかわり
- オンラインに挑戦したり…
- 野菜作りは人をつなぎ支えることを改めて実感
- 集うための様々な知恵と工夫を…

制約のある中での
助け合いや社会参加の新しい形を